

セット品番
 (一般地仕様) F428BS / F428HS / F428HSD / F428NHS
 (寒冷地仕様) F428KBS / F428KHS / F428KHSD / F428KNHS

スパウトインタイプ浄水器

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工業者に依頼してください。
 器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

●据付される方へお願い
 この器具を安全に正しく設置いただくために、「据付説明書」を必ずお読みください。

1. 安全上の注意

ここに示した安全上の注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結びつく可能性があります。
 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●次の表示は、表示内容をお守りいただき、誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

注意 軽傷を負ったり、周辺の家財に損害を与える可能性のある内容を示します。

●次の絵表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

指示	必ずしてほしい『指示』内容を表します。	禁止	してはいけない『禁止』内容を表します。	分解禁止	してはいけない『分解禁止』内容を表します。
-----------	---------------------	-----------	---------------------	-------------	-----------------------

(一般地仕様)F428BS / F428HS / F428HSD / F428NHS
 (寒冷地仕様)F428BS / F428KHS / F428KHSD / F428KNHS

注意	
指示	●給湯器の設定温度は60℃以下で使用する。 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。 60℃を超える高温で使用すると、浄水カートリッジが破損する場合があります。
禁止	●製品に強い力や衝撃を与えない。 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。 ●吐水パイプは回転規制角度以上に回転させない。 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。 ●吐水口は手やふきんなどで触れたり、水をはった容器などにシャワーヘッドをつけない。 細菌が繁殖するおそれがあります。 ●浄水カートリッジを落としたり、強い力や衝撃を与えない。 破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。
指示	〈寒冷地仕様の場合〉 ●通水試験の後、水抜き操作と水栓金具の水抜きを行う。 凍結により部品が破損し、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
禁止	〈寒冷地仕様の場合〉 ●水抜きユニットは水抜き以外の目的で開けない。 水抜き栓をいきなり開けると、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。 ●配管などの解氷のため解氷機を使用する場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しない。 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らすおそれがあります。 ●湯水を逆に配管しない。 水を出そうとしても湯が出て、やけどをするおそれがあります。

注意	
指示	●配管工事はすべて建築基準法、水道法、各地域の条例に準じて行う。 ●水道水の水質基準に適合した水を使用する。 温泉水・井戸水など異物を多く含む水には使用しない。 体調を損なうおそれがあります。 ●給水・給湯管を曲げて施工する場合、給水・給湯管を押さえながら給水・給湯管をゆるやかに30°以内の曲げ角度で施工する。 給水・給湯管を広げすぎると給水・給湯管が潰れて吐水量不足になるおそれがあります。 亀裂や破損して家財などを濡らすおそれがあります。
禁止	〈一般地仕様の場合〉 ●凍結のおそれがある場所には設置しない。 部品が破損し、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
指示	●ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーに相談する。 カウンターの適合穴径は35~39mm、天板厚は5~25mmです。 35mm未満の穴には取り付けません。 無理に穴を開けて取り付けると、家財を傷つけるおそれがあります。 ●止水栓取付箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らすおそれがあります。
分解禁止	●水栓、ホース、浄水カートリッジは分解しない。 破損してやけどやけがをしたり、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
指示	●水受け容器は必ず設置する。 使用中に水がシャワーホースをつたって、家財などを濡らすおそれがあります。 ●必ず同梱の各部品をセットして使用する。 部品をセットし忘れたり純正以外の部品を使用すると水漏れの原因となり、家財などを濡らすおそれがあります。

3. 梱包部品

最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

浄水器一体型水栓

逆止弁ソケット 2個 (パッキン 2個付)
※寒冷地仕様は逆止弁なし

クイックファスナー 2個

クイックファスナーロック 2個

ホースストッパー 1個

水受け容器 1個*1 (両面テープ付き)

ホースガイドA 1個

ブッシュ 1個

浄水カートリッジ 1本

説明書入り袋 一式

〈寒冷地仕様の場合〉
水抜きユニット 1個

※水受け容器はF428(K)HSD/F428N(K)HSには付属しません。

4. 器具の据付

※管工業者に依頼してください。

4-1. 据付場所の選定

●水栓本体は、シンク下で他の配管にぶつからない場所に設置する。
 ●水栓本体は、止水栓から給水、給湯ホースで接続できる場所に設置する。

※水受け容器はF428(K)HSD/F428N(K)HSには付属しません。

4-2. 水栓の据付方法

①スパナ(23mm)で逆止弁ソケットを止水栓に接続する。
 ※逆止弁ソケットは、手でいっぱい締め付けた後、スパナ等工具で締め付けてください。
 (適正トルクの目安: 15~20N・m)

注意

- 水栓の配管接続部はテーパネジに接続しないでください。(接続部がゆるみ、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- パッキンが入っていることを確認してください。(パッキンが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- ゆるみがないように確実に締め付けてください。(ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

2. 給水・給湯条件

①本器具の使用可能給水圧力(静水圧)は0.75MPa以下、常用使用圧力(動水圧)は0.07~0.35MPaです。

注意 給水圧力(動水圧)が設置条件0.35MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

②給水圧力は使用する給湯器の種類により以下の様に求めます。

(1)瞬間給湯器との組み合わせ
 (設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
 [比例制御式]最低給水圧力=A+0.10MPa(動水圧)

(2)貯湯式給湯器との組み合わせ
 最低給水圧力=A+0.07MPa(動水圧)
 (A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))

③湯を使用する際は、給湯器の着火を確認してご使用ください。

④給水・給湯の水圧はできるだけ同じになるようにしてください。
 (極端に圧力が異なる場合、水流音が大きくなる場合があります)
 (給湯の水圧が高い場合やけどをするおそれがあります)

⑤給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には断熱材を巻いてください。

⑥適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。

⑦通水検査をしていますので水栓内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

②シートパッキン下面のシールをはがし、水栓本体からナット類を取り外して取付穴に差し込んで正面シールが正面にくるようにして天板に押し付ける。
 ※水栓本体の取り付けは、カウンターをフロアユニットに固定する前に行うことをおすすめします。

注意

- 水栓全体を差し込む前に取付穴の周囲の汚れやゴミを取り除いてください。(汚れやゴミがあると、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シートパッキン下面のシールをはがして固定してください。(シールをはがさないで固定した場合、水栓本体と天板のすき間からの水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

③輪パッキン、スリップ板、固定ナットを給水管に通し、必ず水栓本体下部を押さえながら固定ナットを立ちレンチで締め付ける。
 ※給水・給湯ホースの先端にあるビニール袋はアダプター取り付けまで外さないでください。

注意

- ゆるみがないように確実に締め付けてください。(ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シャワーヘッド、カートリッジケース、レバーハンドル、本体を持って固定ナットを締め付けてください。(水栓が破損して、けがをするおそれがあります)

④給湯ホースを向かって左側、給水ホースを向かって右側にゆるやかに曲げる。
 (給水栓が左側、給湯栓が右側の場合は取り付けが逆になります)

注意

- 給水、給湯ホースは半径60mm以上の大きな曲げ半径で曲げてください。(亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 給水、給湯ホースの根元に力がかからないように曲げてください。(亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 給水、給湯ホースを無理に引っ張らないでください。(亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 給水、給湯管を必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
- 給水、給湯管同士の不必要な接触は避けてください。
- 給水、給湯管を水栓本体端面から30°以内の曲げ角度で据付してください。(亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

⑤給水・給湯ホースを止水栓の取り出し芯に合うようにゆるやかに曲げ、逆止弁ソケットに差し込む。

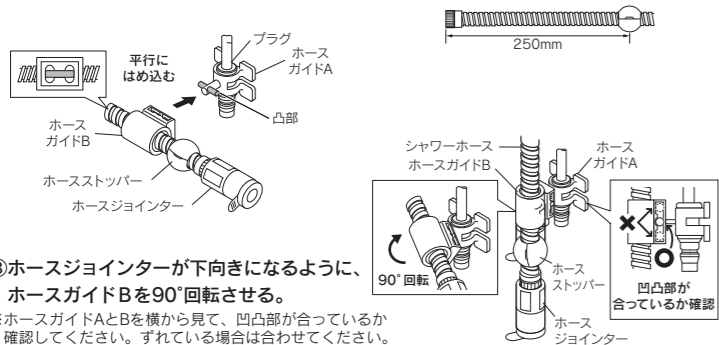
⑥クイックファスナーを給水・給湯ホースとアダプターのつばに確実にはめ込んだ後にクイックファスナーロックをはめ込む。

注意

- 給水、給湯ホースは逆止弁ソケットに対し垂直に差し込んでください。
- 差し込む際は先端のOリングを持たないでください。
- 先端にOリングがついていることを確認してください。
- 湯、水を逆に配管しないでください。(水を出そうとしたとき、湯が出てやけどをするおそれがあります)

4-3. シャワーホースの取付

- ①ホースガイドBを、ホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめ込む。
- ②ホースストッパーを、シャワーホースセレーション部より約250mmに取り付ける。

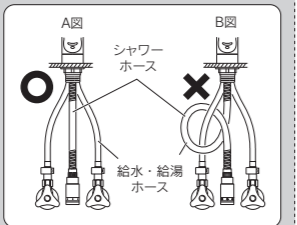


- ③ホースジョインターが下向きになるように、ホースガイドBを90°回転させる。

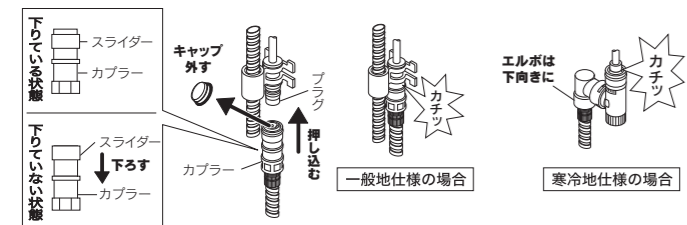
※ホースガイドAとBを横から見て、凹凸部が合っているか確認してください。ずれている場合は合わせてください。

△注意

- 固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、給水・給湯ホースに引っかかりたり、ひねったりしないでください。(シャワーホースが破損し水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- ホースジョインターとホースの接続がゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は、ホースジョインターをしっかりと増し締めしてください。
- ホースストッパーが給水、給湯ホースにあたらないことを確認してください。
- ホースガイドは手で取り付け、取り外してください。工具等を使用するとホースガイドが破損するおそれがあります。

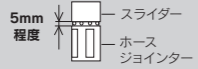


- ④ホースジョインター(寒冷地仕様は水抜きユニット)のキャップを外し、スライダーを下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込む。取り付け後、ホースジョインターを引っ張って外れないことを確認する。

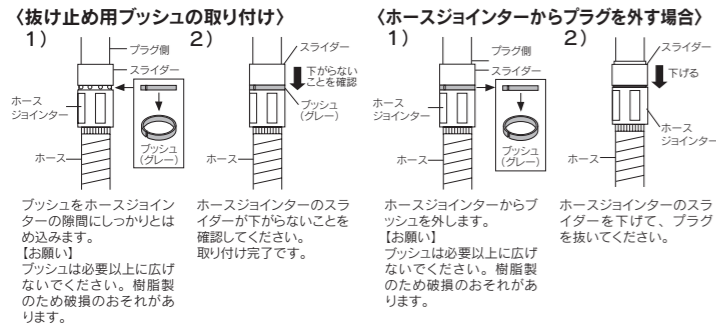


△注意

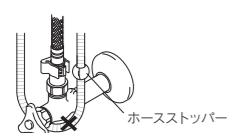
- ホースジョインター取り付け後、確実に接続されているか、確認を行ってください。(確実に接続されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- スライダーが5mm程度上がっていてホースジョインターを真下に引っ張って外れないか、確認を行ってください。(確実に接続されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)



- ⑤ホースジョインターに抜け止め用のプッシュを取り付ける。

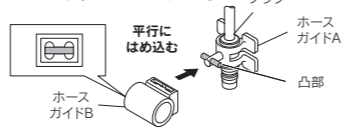


- ⑥シャワーホースを引き出し、シャワーホースに引っかかりなどがなく、スムーズに引き出せるか確認する。※止水栓などに引っかかり、引き出せなくなるか確認してください。



(寒冷地仕様の場合)

- 1) 同梱のホースガイドBを、ホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめ込む。

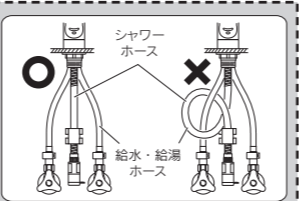


- 3) ホースストッパーを、シャワーホースセレーション部より約250mmに取り付ける。



△注意

- 固定した際、シャワーホースがまっすぐ垂れ下がるようにしてください。給水・給湯ホースに引っかかりたり、ひねったりしないでください。(シャワーホースが破損し水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

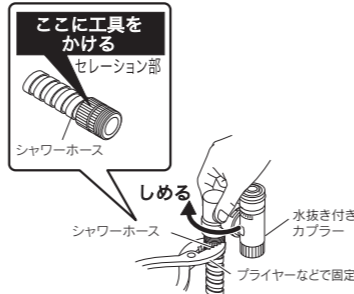


- 4) 同梱の水抜きユニットをシャワーホースにプライヤーなどで接続する。→④に続く

※シャワーホースが引出しなどに干渉しないように、シャワーホース接続口を正面に向けて設置してください。

△注意

- 締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。(シャワーホースが破損し水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シャワーホースをねじらないでください。(シャワーホースが破損し水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シャワーホースのセレーション部以外には工具をかけないでください。(シャワーホースが破損し水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 本体のプラグにホースジョインターを押し込む前に、ホースジョインターと水抜きユニットの接続がゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は、しっかりと増し締めしてください。

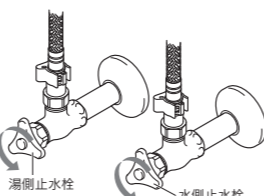


5. 据付後の点検

※管工事に業者に依頼してください。

5-1. 配管内洗浄

- ①シャワーホース引き出しの確認
 - シャワーホースが止水栓などに、引っかからないように施工してください。
 - シャワーホースを出し入れしたとき、止水栓などに引っかかり、引き出せなくなるか確認してください。

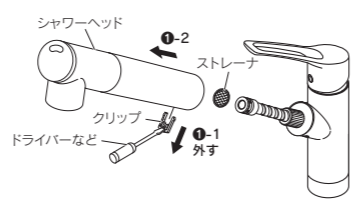


- ②給水・給湯側止水栓を開く。

- ③配管内を洗浄する。

※浄水カートリッジを取り付けしないでください。

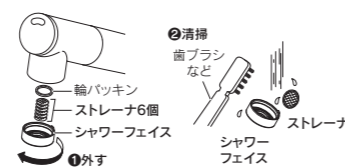
- ①シャワーホースを引き出し、マイナスドライバーなどでクリップを外してから、シンク内でシャワーヘッドを外す。
- ②シャワーホースをシンクに置く。



●吐水口の清掃方法

※シャワーヘッドをつけたまま、初めての通水をしてしまった場合は吐水口のストレーナも清掃してください。

- ①シャワーフェイスの二面幅に工具をかけて回して外し、ストレーナ(6個)を取り外す。

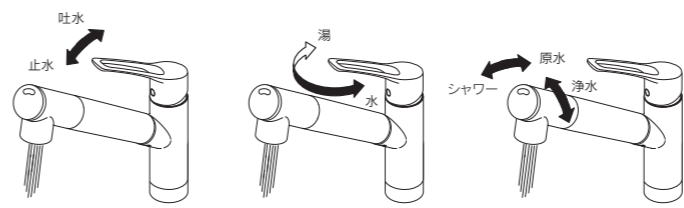


清掃後は、外した逆の手順で組み立ててください。

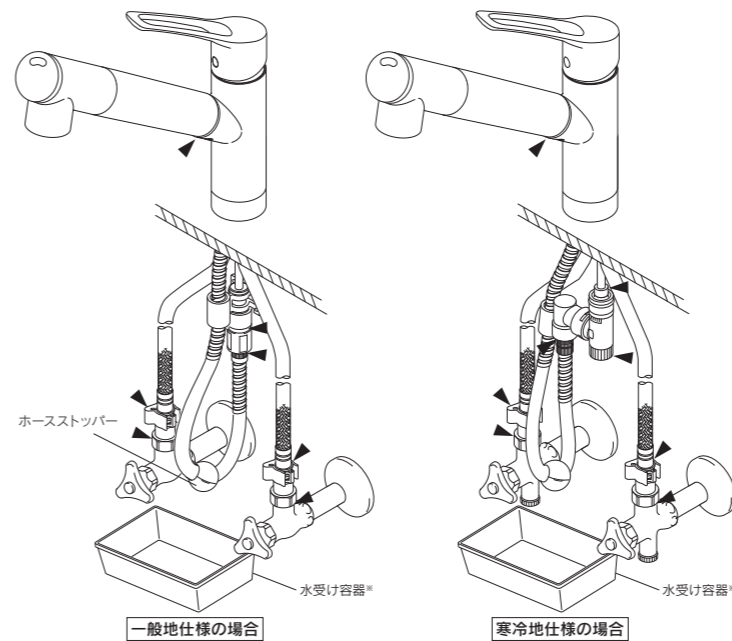
△注意

- 清掃後の組み立ては確実に行ってください。(確実に組み立てられていない場合、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

- ④レバーハンドルの湯・水および切替レバーの浄水・原水・シャワーの各位置で吐水・止水しながら繰り返し操作して配管接続部の水漏れがないことを確認する。



- ⑤矢印部分「▶」から水漏れがないか必ず確認する。



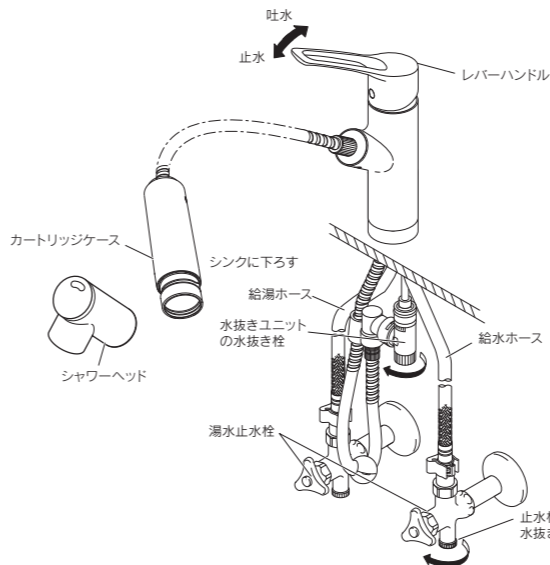
※水受け容器はF428(K)HSD/F428N(K)HSには付属しません。

5-2. 寒冷地仕様の場合

水栓取付時には下記の手順にて水抜きの方法の確認を行ってください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

●水抜き方法

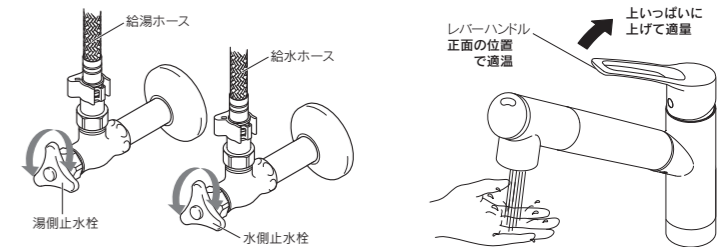
- ①配管部の止水栓を閉める。通水が止まります。
- ②レバーハンドルを右側いっぱいにして回し上げる。配管内に空気が入ります。
- ③カートリッジケースをシンクに下ろしシャワーホース水抜き栓のエルボを上に向ける。
- ④水を受ける容器(洗面器など)を用意し、シャワーホースの水抜き栓と、水側の止水栓の水抜き栓を開けて水を抜く。
- ⑤レバーハンドルを上げたまま左側いっぱいにして回し湯側の止水栓の水抜き栓を開けて水を抜く。
- ⑥シャワーヘッドを取り付ける。
- ⑦シャワーホース、湯・水の**水抜き栓を確実に閉める。**
- ⑧レバーハンドルを下げる。



⑥温度調整・流量調整

「2. 設置条件」を再確認の上、レバーハンドルが湯側、水側の各位置(全開)で適温、適量になるように、止水栓で調整する。

適量の目安：レバーハンドルを湯側、水側の各位置で吐水したとき、原水およびシャワーの流量が約15秒で2Lの容器を満たす程度

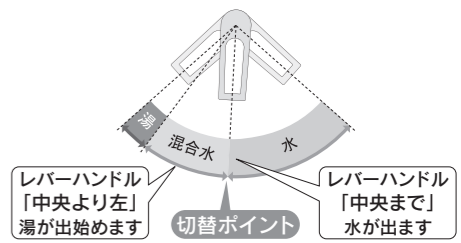


△注意

- 給湯器が瞬間型の場合、吐水量が少ないと給湯器が着火しないことがあります。レバーハンドルをできるだけ全開でご使用いただくために全開状態で、適量調整してください。

●温度調整方法

レバーハンドルを回し、右側いっぱいから中央(水栓の正面)まで水が出ます。中央より左へ回すと次第に湯が始めます。湯が出始める位置に切替ポイントを設定しています。(無駄なお湯を使わないためのご提案です)



6. 最終点検

- 水受け容器を設置しましたか?*
- シャワーホースを引き出したとき、引っかかりはないですか?
- 配管内の洗浄を実施しましたか?
- ストレーナのゴミ取りをした後、ストレーナを水栓内に戻しましたか?
- 水漏れはないですか?
- 温度はレバーハンドルが正面の位置で、適温ですか?
- 流量は適切ですか?
- 寒冷地仕様の場合：水抜き栓を閉めましたか? また、お客様に水抜き方法の説明をしましたか?
- この据付説明書は「取扱説明書」、「浄水カートリッジ」とともにお客様にお渡しして、大切に保管していただくように説明してください。手渡しできない場合、据付終了後、製品の近くに置いてください。

※水受け容器はF428(K)HSD/F428N(K)HSには付属しません。

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

●製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

クリンスイサービスセンター U係

0120-328-432

受付時間/平日10:00~17:00(土・日・祝日10:00~16:00)